

順正寺報
2022.3

遊煩・心林

春のお彼岸 法事

左記のとおり春季彼岸会総供養
法要をお勤めいたします。

この度の法要は時節柄一十五名
定員とし、事前予約制といたします

す。

*お寺にご遺骨をお預けの方は期間中な
るべくお参り下さい

予約電話

三月二十四日（木）
午前十一時半より

午前九時から午後五時まで
03-3996-2064

それ以外の時間

*衆僧総供養読経
法話 西原祐治師

080-5464-9136

*三月十八日から二十四日までお彼岸で
す。この期間お寺もしくはご自宅での読經
供養を致します。ご希望の方は必ずご予約
ください。

*新型コロナウイルスの影響により密を
避けるため期間中お寺、ご自宅での読經供
養はすべて予約制といたします。必ず電話
予約して下さい。

春のお彼岸です。春なので何か心がぽかぽかするようなことを書こうと先日来苦慮していますがだいたい苦慮している時点で私の心は少しもぽかぽかしていいので書けるはずもない。今だつて気温1°Cだし、パソコンも冷えていて反応悪いし指はかじかんでキーボード打ち間違えばかりだし。

と言う事で、締め切り直前になってしまったのでぽかぽかは諦めます。

さて、お彼岸とは極楽浄土の事です。この時期にはあらためて極楽浄土のほとけさまの慈悲を実感いたしましょう。と、大きく出てみる。

照久会の皆様にお配りしている法語カレンダーの2月の法語は

ふみはづしましたが 気がつけばここも
仏の道でございました

いいですね、これ！

いや、「これ」とか言つてはいけないのでしょうが将に淨土真宗の真骨頂です。

「世の中には2種類の人間がいる。俺と俺以外」のローランドさんではありませんが「仏教には二つの道がある。淨土の真宗とそれ以外」です。淨土真宗以外の諸宗派は教主お釈迦様の教えを実践して悟りへの道を歩んでいく厳しいものです。わたしたち淨土真宗はお釈迦様の教えを依りどころとして生活することを宗とします。

「十善戒」といつて仏道修行僧が守るべき戒が有ります

す

不殺生、不偷盜、不邪淫、不妄語、不惡口、
不兩舌、不綺語、無頓、無瞋、正見。

出家修行者はこれらを戒として仏道を歩みます。転じて在家の私たちにはどれ一つも守れない事ではないでしようか。

「いや、別に悟り開かんでもいいから」とツッコミたくなりますが、悟りと言うと何か難しい気がしますが中國の人は大したものでこれを「極樂」と訳しました。極樂ですよ、樂のきわみです。それならいいんじやないと思います。

問題は私には成仏道の基本となる「十善戒」これすら守れないということです。でも安心してくださいちゃんと抜け道が用意されています。それが「念佛道」です。南無阿弥陀仏の教えは聖道門（戒律を守る修行の道）から零れ落ちる私たちの為に開かれた教えです。極樂への道、門はいつも開かれています。しかし在家の私たちは冒頭の言葉のようにいつも道をふみはづしてしまいます。だからこそ救わなくてはいけないという強い願いがあるのです。それを本願と言います。「気がつけば」と、ああ極樂の道から外れているなと恐れることは有りません。気がつかなければ不安にされてしまいます。しかし、ふみはづしても、ふみはづしても気づかせてくれるところ、気づいたところはすでに仏さまの慈悲の内、仏道です。

安心してください。
彼岸の光は常にあなたを照らし護っています。

今度は
安心

グリーフケア

悲しみ、寂しさを話せる居場所

～あなたは ひとりぼっち じゃない～

大切な方を亡くされた悲しみ、さみしさを一人で抱え込んでいませんか？
悲しい気持ち、孤独感、言葉にできない、いたたまれない気持ちを誰かと一緒に言葉にしていければ。

グリーフケアはそんな思いを、悲しみを語り合うことで、少しずつ、少しずつ、一緒に、大切な思いへと育む、そんな会です。

同じ悲しみ、同じ思いはありません。

なぜなら、大切な方をなくした悲しみは比べるものではないから。

でも、悲しみを通して繋がることはできるのです。

話して癒やされるだけではなく、あなたの話が共感を呼び起こし、隣の人を癒やし、助ける、そんな繋がりもあるのです。

まずは隣の人と。

そして、その悲しみこそが大事な方との、大切な、だれにも譲れない共通の居場所なのだとと思った時、悲しみはかけがえのない「わたしの宝物」となります。

開催日時 毎月5日（1月・3月・8月はお休み）午後2時より

場 所 順正寺 本堂（練馬区石神井町3-17-4）

順正寺のグリーフケア「悲しみを語り合う会」は、わたし（副住職）が進行役として参加される方が少しでも居やすい場を作るよう努めています。

また、看護師でもあるグリーフケアアドバイザーの木村さんにアドバイザーとして参加していただき、話しやすい、細かな気づきのある、安心して参加できる和める場作りにご協力いただいています。

ご自身の生活をより大事に過ごされる一助となれればと思っております。

ご参加ご希望、ご相談の方は下記にてご連絡ください。

順正寺ホームページ「お問い合わせ」フォーム
<https://junshoji.net/contact/>



電話 03-3996-2064（順正寺 9時～17時）

ご連絡、お待ちしています。

*運転免許の更新に行つてきました。毎回の事ですが何かと違反があるので違反者講習と言うのを受けなくてはならないのでめんどくさいのですが、道交法の改定等教えてくれるのでそれは助かります。しかしあの免許証の写真は何とか

ならないかと思います。全員犯罪者の昔の写真に比べればかなり良くなっていますが人間の欲は際限ないもので年々みずぼらしくなっていくのよね。まあ写真と言うくらいで写真を写しているんだからみすぼらしいのが事実の私なのだろう。事実を突きつけられると時に悲しいものだ。

で、講習の最後に「安全運転自己診断」という◎×式の心理テストがありこれも毎回愉しみなのだが、元々若いころから安全運転には向いていない性格と判定されていたが年を取つてさらに向いていない事になってきた。まあ社会人として不適合なんだからそれはそれで仕方ない。でも社会生活は社会人の振りをして何とかまかしても車の運転は事故にながるので「まかしは効かない」と云う訳で自己診断の結果をよく頭に叩き込んで運転をしなくては。本文の通り、写真も性格も気づかせてくれる。これも仏道。

合掌 住職

住職からのお願ひ

今東京では火葬場が不足しています。皆さん「経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまします。また土曜、日曜に行われる一日葬が増え、その為「法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることが有ります。葬儀をお勤めする

ことはそのお家の方にとつて一生の一大事です。そこは相身互い、どうかご寛恕下さいますようお願い致します

定例行事 いずれも「自由に」参加下さい

(聞法会) 每月2日夜7時から、「御文」のお話、座談会をやっています(1月、8月はお休み) 2時間ほど

(グリーフケアの集い「微妙音」) 一月、三月、八月お休み
毎月5日午後2時より2時間ほど

(白色白光の会)(婦人会) 每月第2木曜午後1時

お経(正信偈)の練習と法話と茶話会

(仏像なぞり書き、塗り絵「仏像描くぞう」)

毎月、第2月曜午後3時と月の最終日曜日午後3時から1時
間 参加費三百円(初回のみ別途テキスト代千円)

照久山 順正寺 東京都練馬区石神井町三・十七・四

お問い合わせ。午前9時から午後5時までは
03-3996-2064

それ以外の時間緊急の場合

080-5464-9136